

論文の内容の要旨

論文題目 **Creativity in Second Language Writing:
Ludic Linguistic Creativity in a Japanese Context**
(創造性と第二言語作文—日本における遊戯言語型創造性)

氏 名 北 和 丈

第二言語作文の指導を巡る議論においては「創造性」という概念がしばしば持ち出されてきたものの、従来その定義が明確な形で提示されたことはなく、その結果として、実態としては性質を異にする様々な教育実践が、確固たる理論的基盤を欠いたまま「創造的な」作文という名の下に展開されてきた。本博士論文は、筆者自身が英作文指導の基本理念としている「創造性」の概念に明確な定義を与えた上で、日本の大学教育におけるその妥当性を検証することを目指したアクション・リサーチの記録である。

イギリス・アメリカ・日本の各国における代表的な英語教育関連雑誌をその創刊号から通読すると、「創造的」「創造性」という用語が英語教育言説に導入されてきた背景には、1970年代以降の脱行動主義的言語学と人間主義的教育の発展があったことがわかる。こと英語教育の分野に限って言えば、そこに見られる創造性の概念は四つに分類することができる。第一にチョムスキーの研究に影響を受けた生成言語学型創造性、第二に人間性心理学に端を発する人間主義型創造性、第三にその二つの概念が混合した混成型創造性、そして第四に混成型創造性の亜種でやや人間主義的な色合いの強い混成自己表現型創造性である。このうち第四の種は主に日本の文脈に偏在しているもので、1970年代以降、日本に

における伝統的な英作文教授法である試験志向の和文英訳に対抗する手法として提示された「自己表現」志向の英作文指導の基盤を成す概念である。

試験志向の和文英訳については、その長い歴史の中でも学術的に綿密な考察が為されたことがなく、逸話的な情報だけに基づいた批判が、これと言った対立意見も出ないままに繰り返されてきたのみであった。自己表現志向の英作文指導を唱導する論者の批判についても同様で、そこには厳密な手続きが欠如していると言わざるを得ない。しかしながら、そのような逸話に基づいた議論も、試験志向の和文英訳を経験してきた学習者がどのような特徴を備えているのかを予測するための手がかりとして利用することは可能である。例えば、文単位での文法の正確さに対する意識の高さ、英語と日本語の差異に対する一定の知識といった長所や、英語で自己を表現する経験の欠如、英語の形式的特徴のうち翻訳が困難である要素に対する関心の欠如といった短所は、日本の英語学習者の多くに共通する代表的特徴としてしばしば指摘されているものである。

学習者に関するこのような特徴を考慮すると、日本の高等教育における混成自己表現型創造性に基づいた英作文指導の妥当性にはいささかの疑問が生じる。第一に、自己表現志向の英作文指導には文法の正確さの価値を軽視する傾向があり、中等教育で受験志向の英作文指導を経験してきた学習者にとっては、既得知識の価値を否定されることによって学習の文脈的連続性を絶たれることが懸念される。第二に、自己表現志向の英作文指導は、学習者の自己表現を過剰に重要視するあまり、高等教育で学ぶ学習者の能力・意欲に合った素材を提供できない可能性がある。混成自己表現型創造性に関する以上の欠点を踏まえた上で、日本の大学教育における英作文指導の目標とするのに相応しい概念として筆者が提示するのが、遊戯言語型創造性、すなわち、「ある言語の形式を駆使して新しい言葉を生み出し、それによって自己の思想を表現するのみならず、特定の読者の感興をそそり関心を引くことができる能力」である。この概念を目標に据えた英作文指導が日本の高等教育にもたらすと想定される効果は、第一に、受験という外発的動機を失った日本の大学生に対して英語を書く上での内発的動機を与えること、第二に、試験志向の英語教育で文法の正確さに対する意識を身につけた日本の大学生に対してそれをさらに高めるような個人的・対人的文脈を与えること、第三に、英語の形式的特徴のうち翻訳困難な要素に対する意識を高めさせることである。

これらの仮説を検証すべく、筆者は遊戯言語型創造性の概念に基づいた自らの英作文指導実践を詳述・分析した。分析に当たっては六つの異なる情報源からできるだけ非介入的

な手法でデータを採り、教室における実践を対象としたこのような自然的研究の信頼性の向上や、研究上の倫理的問題・方法論的問題の回避に配慮した。二年間、四回に及ぶアクション・リサーチの結果、学習者の内発的動機及び翻訳困難な形式的特徴への意識に関する仮説は立証された。また、学習者の英語語彙を増強する効果も見られたが、一方で文法の正確さに対する意識についてはわずかな向上が確認されるに止まった。